

集 会 ア ピ ー ル

ヒロシマ・ナガサキの被爆、そして敗戦から今年で67年を迎えました。

1945年8月2日の未明、米軍のB-29爆撃機が富山上空を飛来し、大音響とともに重さ1300トン、50万本もの焼夷弾とナパーム爆弾の雨を降らせました。その当時の富山市街地の99.5%を焼失させたすさまじい大空襲は、2,700人以上もの尊い命を奪い、約8,000人もの人々を負傷させました。

戦争の被害は人間がつくったものです。世界には、今なお2万発以上の核兵器が存在し、人類は未だに核による脅威にさらされ続けています。2010年のNPT・核拡散防止条約再検討会議では、核軍縮、不拡散につながる具体的な行動計画を盛り込んだ「核兵器のない世界」に向けた最終文書が全会一致で採択されましたが、核兵器保有国が採決された行動計画を着実に実行されるよう、粘り強く運動を展開していかなければなりません。

核兵器のない平和な21世紀を実現するには、幅広い世界的な平和運動がどうしても必要です。そのためにも、世界で唯一の被爆国である日本は、国是である非核三原則「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」を堅持し、先頭に立って平和施策の実現をめざし、「核兵器廃絶」の具体的進展に向けた積極的な役割を果たさなければなりません。

皆さん、67年前の富山大空襲、そして今なお続く原爆の凄惨な爪あとを風化させることなく、日本も世界も再び戦争を繰り返してはいけないと語り継ぎ、粘り強く平和運動を続けていこうではありませんか。

私たちの平和への願いを県民の皆さんにお訴えし、集会アピールとします。

2012年8月1日

8.1ピース・アクション in Toyama